

弔用盛り籠「ワインの盛」の商品化支援

伊藤アドバイザーによる支援

全国的にも有名な山梨県産のワインを盛った、新しい弔用スタンドを開発したいとの相談をきっかけに支援開始

産業財産権取得に向けたサポート

- ◆ 産業財産権取得の重要性について説明
- ◆ 先行技術調査方法の指導
- ◆ 先行技術文献の整理・分類・マップ化等の支援
- ◆ 技術情報及び権利情報としての公報の読み方を指導
- ◆ 県内弁理士の紹介
- ◆ 早期審査制度活用 の提案
- ◆ 出願費用等の助成制度について説明(やまなし産業支援機構の紹介)

有限会社 華匠

県内ワイナリー各社が丹精こめて作り上げた自信のワインを盛り合わせたインパクトのある弔用の生花スタンドを企画

ワインボトルは重量があり、扇形にバランス良く配置できないという課題

ワインをしっかりと固定するためのプラスチック製の型枠を開発

知財で保護！

特許情報活用による成果

特許出願 1 件

● 特願2008-114218

自社により商標出願 1 件

● 商願2008-92300

- ワイン盛り用の型枠は何回も使用可能で、省資源・リサイクルに最適
- 県内各社ワイナリーとのコラボレーションにより華匠オリジナルワインの生産



この支援によって開発・販売された商品

商品名 「ワインの盛」(商標登録出願中)

生花の中心部にワインが良く見えるように型枠により扇形に配置されたものです。生花とワインのラベル、ビンのデザインがマッチしてとてもユニークでインパクトのある商品に仕上がっています。

支援先企業の概要

- | | | | |
|------|------------|------|--------|
| ■会社名 | 有限会社 華匠 | ■代表者 | 武藤 正 |
| ■住所 | 山梨県甲府市上阿原町 | ■設立 | 2008 年 |
| ■資本金 | 1,000 万円 | | |

伊藤 哲雄(山梨県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

時あたかも「おくりびと」が米国映画界のアカデミー賞で、外国語映画賞を受賞しました。亡き人を送り出す厳粛で重みのある姿勢が描かれているという話題の映画です。

「ワインの盛」も亡き人を悼む弔用盛り籠ですが、ワインをしっかりと固定する型枠に特許性があると考え特許権取得に向け一連の支援を行いました。やまなしぶどうで県内各社ワイナリーが丹精込めて作った、やまなしワインがふんだんに飾られています。

ワインを通じて亡き人と「おくりびと」とが優しく穏やかに繋がっていることを感じさせる「ワインの盛」。山梨発信の「おくりびと盛り籠」になることを願っています。



平成 21 年 2 月現在